

がんセンターたより

感染症内科開設と「ご挨拶」

感染症内科部長 / 感染制御室長 築地 淳



皆様、本年4月1日付でがんセンターに新設された感染症内科部長（感染制御室室長兼任）として赴任しました築地淳です。

現在、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の第4波に直面し、皆様も大変な毎日をお過ごしのことと思います。昨年は中国武漢に端を発したCOVID-19の衝撃的な1年間でした。私も前任の横浜市大センター病院においてクルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号（DP号）の横浜寄港以来、約150名のCOVID-19患者と関わって参りました。幸運にも恵まれ、二次感染者を院内から出すことなく切り抜けることができましたが、内心はいつも不安で感染の脅威から家族、病院職員を守り抜くことだけで精一杯でした。第4波に直面している現況においても、がんセンターでの院内クラスター発生阻止を大目標として、適切な検査体制の確立、ゾーニングの設定、防護具着脱指導などに尽力して参る所存ではありますが、機会があれば、私の経験と知識が近隣医療機関の皆様にとってお役に立てることもあるのではないかと考えております。

すっかりCOVID-19の陰に隠れてしまいましたが、多剤耐性菌の問題も世界中で深刻化しております。当院でも抗菌薬が非常に効きにくい耐性菌検出率が上昇傾向にあり、放置すれば入院長期化・難治化を起こしかねないリスクを秘めています。感染制御室では専従看護師（ICN）と二人三脚で耐性菌対策を練り上げ実行して参ります。また抗菌薬などの病原微生物に対する薬剤の適正使用を推し進め、地域における耐性菌抑制にも貢献できるように活動して参ります。

しかしながら、そもそも「感染対策」とは、職員全員（および患者さんとご家族も含む）のご理解と協力があって初めて達成されるものであります。COVID-19対策、耐性菌対策のいずれにせよ、感染対策と診療支援を通して、がん患者さんの療養環境の改善、充実した治療に貢献して参る所存でございます。

何卒、今後とも皆様のご理解・ご協力のほどを宜しくお願い申し上げます。

就任のご挨拶



副看護局長
市橋 麻由美

このたび、副看護局長を拝命いたしました、市橋麻由美です。看護師としての大半はがんセンターで多くの経験をさせていただき、それ以外には基礎教育の現場とこども医療センターで勤務してきました。4月の採用時研修で私自身の看護師としてのあゆみについて新採用者に自己紹介する中で、改めてがんセンターで育てていただいたことを実感いたしました。

昨年から続いている新型コロナウイルス感染症の影響で、新採用者をはじめとした職員研修や実習生の受け入れ、人材確保対策等にさまざまな制約が生じています。一方でWEBを活用した学びや発信の場が広がったことで、これまでよりもチャンスが広がったという見方もできます。このような環境の中で、今年度の看護局目標である「がんと共に生きる患者家族のニーズを尊重し、安全で安心な看護を提供する」「お互いを思いやり、働きやすい職場づくりをする」に向けて、教育担当副看護局長として果たすべき役割を考え、微力ながら取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



副事務局長 兼
総務企画課長
田中 一郎

4月1日付けで副事務局長として着任いたしました、田中と申します。

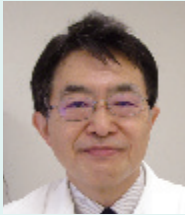
3月まで在籍した足柄上病院に続き、2か所目の病院勤務となりますが、皆様の健康と命を守るという同じ目的を持つ県立病院であっても、それぞれの機能や役割は異なり、現在、勉強中の毎日です。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、医療を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありますが、そうした中であっても、当センターが、患者さんに選ばれ、また、職員が生きがいと誇りを持てる病院となり、皆さまの期待に応えていけるよう、裏方から尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新任の紹介



医療局



麻酔科 部長
佐々木 俊郎



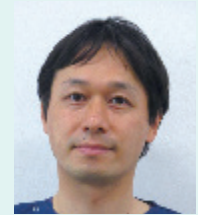
糖尿病・内分泌内科 医長
室橋 祐子



呼吸器内科 医長
牛尾 良太



呼吸器外科 医長
伊坂 哲哉



消化器外科(胃食道) 医長
末松 秀明



消化器外科(大腸) 医長
沼田 幸司



泌尿器科 医長
寺尾 秀行



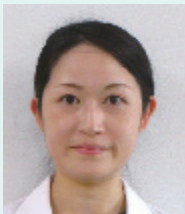
骨軟部腫瘍外科 医長
根津 悠



麻酔科 医長
古賀 資和



病理診断科 医長
小野 響子



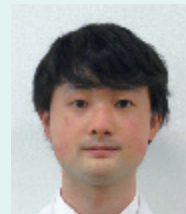
麻酔科 医長
大熊 歌奈子



呼吸器内科 医師
片倉 誠悟



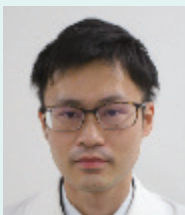
血液・腫瘍内科(血液) 医師
廣瀬 奈津季



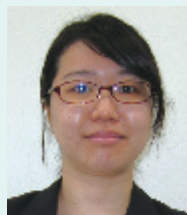
血液・腫瘍内科(腫瘍) 医師
日比野 勇人



血液・腫瘍内科(腫瘍) 医師
竹田 喬亮



消化器内科(消化管) 医師
渡部 衛



消化器内科(肝胆膵) 医師
山近 由衣



消化器外科(肝胆膵) 医師
上岡 祐人



消化器外科(大腸) 医師
淺利 昌大



消化器外科(大腸) 医師
大宜見 崇



脳神経外科 医師
石川 幸輔



頭頸部外科 医師
木谷 有加



頭頸部外科 医師
吉田 真夏



乳腺内分泌外科 医師
岡本 咲



婦人科 医師
納富 嗣人



医療局



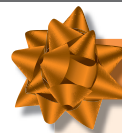
泌尿器科 医師
長坂 拓学



泌尿器科 医師
西元 健



放射線治療科 医師
島 聖



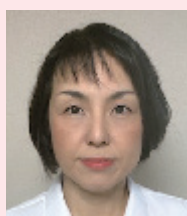
医療技術部



放射線診断技術科 科長
花坂 信明



看護局



看護局 (3E) 看護科長
江崎 まり子



看護局 (4E) 看護科長
田中 紀子



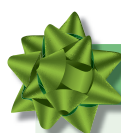
看護局 (5E) 看護科長
村田 久美子



看護局 (6W) 看護科長
櫻木 奈緒子



看護局 (7W) 看護科長
塩澤 綾



レジデント (第35期生)



レジデント 医師
河原 慎之輔



レジデント 医師
濱口 智美



レジデント 医師
橋本 至



レジデント 医師
品田 佳那子



レジデント 医師
井田 在香



レジデント 医師
近藤 拓也

令和2年度😊患者満足度調査の結果をご報告いたします。

当院では、令和2年11月に入院・外来の患者満足度調査を実施いたしました。
ここに、調査結果の一部をご報告させていただきます。

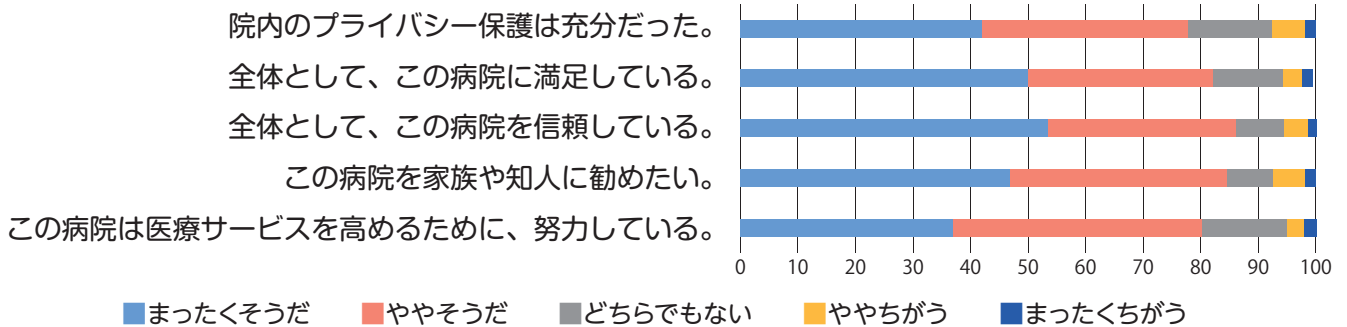
実施期間 令和2年11月2日(月)～13日(金)

回答数 入院 299件 外来 293件

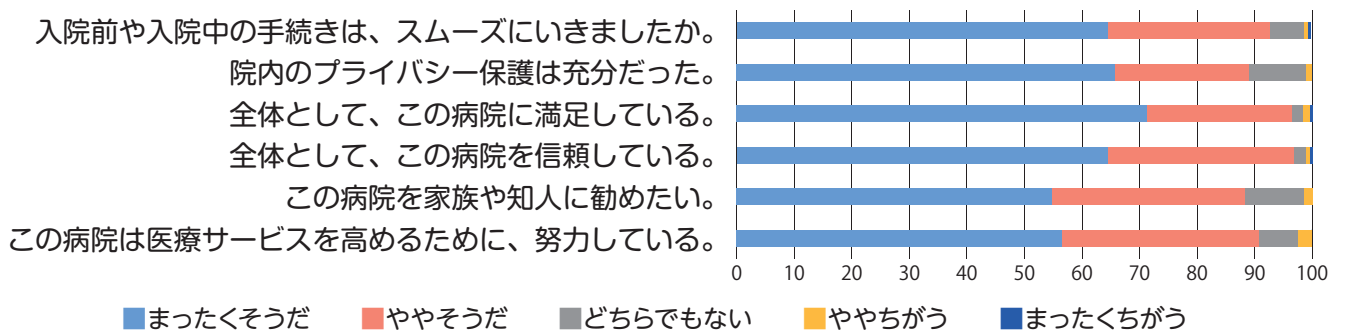
病院全体の評価では、入院が外来より満足度が高い結果となりました。外来については、昨年度より更に満足度が下がっています。項目別では、入院については高い評価を頂いておりますが、外来については、会計待ち時間など外来会計等、十分に満足いただけていない結果となりました。

1. 病院全体の総合評価

外来満足度総合評価



入院満足度総合評価



2. 病院全体の満足度 [最大値：10点]

病院全体の評価	外 来	入 院
プライバシー保護は充分だった	5.5 (△ 0.7)	7.2 ※
病院に満足している	6.1 (△ 0.7)	8.0 (+ 0.5)
病院を信頼している	6.6 (△ 0.5)	8.3 (+ 0.5)
家族、知人に勧めたい	6.3 (0.0)	7.7 (+ 0.5)
医療サービスを高めるために、努力し向上している	5.5 (△ 0.7)	7.8 (+ 0.4)

※令和2年度より入院項目に追加

注1 ()内の数値は前回調査との差異

注2 満足度の考え方

各設問の回答項目「まったくそうだ」、「ややそうだ」、「どちらでもない」、「ややちがう」、「まったくちがう」の回答者数に対し、それぞれ10点、5点、0点、-5点、-10点を掛け、満足度を回答数で割った平均の数値。

3. 項目別満足度 [最大値 : 10 点]

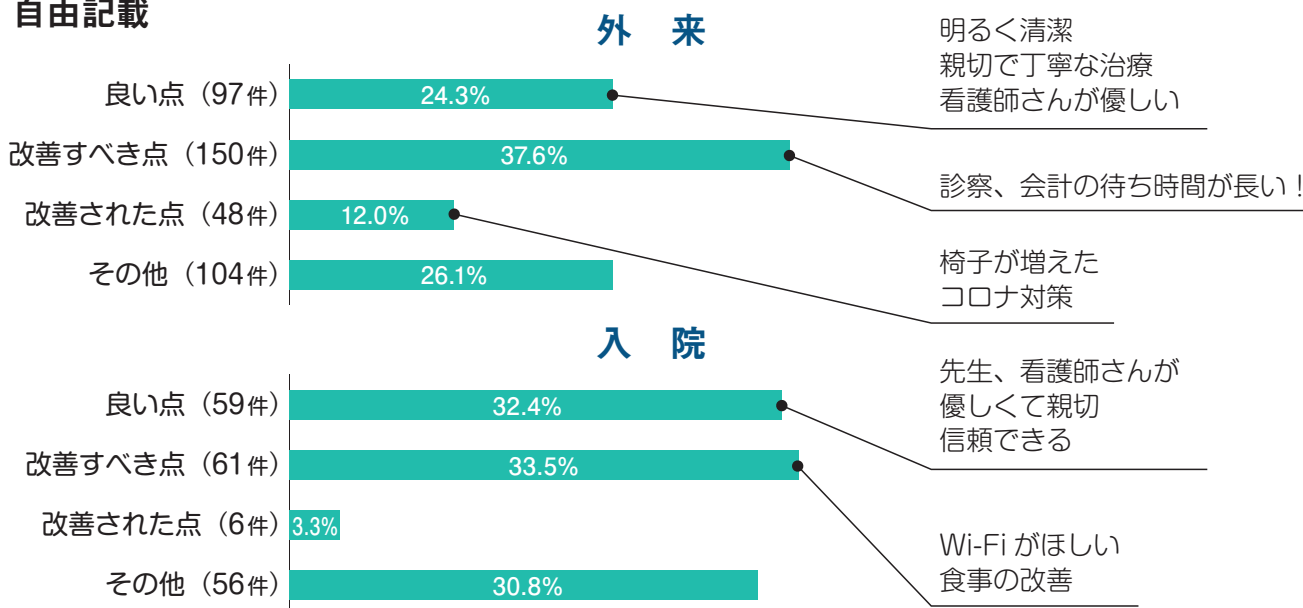
項目	満足度
外 来	
診察前 (紹介、待ち時間、待合室環境)	5.1 (△ 0.3)
診察や医療スタッフ (医師の診察、看護師の説明・処置)	5.8 (△ 0.5)
検査 (尿検査、血液検査、CT、MRI、レントゲン、処置・説明)	7.0 (△ 0.3)
施設・設備・情報提供 (診察室、院内設備、がん相談、情報提供)	5.2 (△ 0.7)
会計 (順番が公平・長く待つ、請求書、職員対応、自動清算機)	3.6 (△ 0.8)
総合評価 (病院全体)	6.0 (△ 0.5)
入 院	
入院時の説明等 (医師説明、入院手続き、入院中生活説明)	6.7 (+ 0.3)
入院中の診療や医療スタッフ (医師の説明・診療、看護師の説明・処置、介助等)	7.5 (+ 0.2)
入院中の具体的な治療 (検査、薬剤師・栄養士の説明・指導、手術、リハビリ)	7.7 (+ 0.2)
施設・設備・情報提供 (トイレ・浴室、病室内環境、エレベーター・階段、食事、がん相談等)	6.1 (△ 0.4)
退院 (退院説明、会計)	6.9 (+ 0.9)
総合評価 (院内仕組み、病院全体)	7.7 (+ 0.2)

注1 () 内の数値は前回調査との差異

注2 満足度の考え方

各設問の回答項目「まったくそうだ」、「ややそうだ」、「どちらでもない」、「ややちがう」、「まったくちがう」の回答者数に対し、それぞれ10点、5点、0点、-5点、-10点を掛け、満足度を回答数で割った平均の数値。

4. 自由記載



まとめ

今回の調査を通じて、いただきましたご意見をもとに、今後より良い病院運営に活かしてまいります。ご協力いただきました患者さん、ご家族の皆様にお礼申し上げます。

編集後記

コロナ禍でも「通常通りのがん診療を提供すること」が、当センターの使命です。患者満足度調査では「コロナ対策」も評価していただきましたが、さらなる改善を目指して、感染症内科を開設しました。一方では、外来化学療法患者の増加に伴って、ご不便をおかけしていることも数値に表れました。患者さんの声を真摯に受け止め、ホスピタリティに繋がりたいと思います。

病院長 金森 平和